


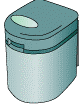



他の生ごみ処理との比較

種別	コンポスト化容器	密閉式容器	電動式 バイオ型	電動式 乾燥型	ケ・セラBOX
					
価格	8千円前後	4千円前後	6万円前後	7万前後	3千円前後
特徴	<p>大きなポリバケツをひっくり返したような形をしている。</p> <p>土を掘って、20cmほど埋めて設置する。生ごみを投入し、乾いた土や、枯れ草などを入れて、微生物による分解作用を利用する。蓋で密閉し、容器内を高温化することによって、虫の発生を防ぎ、堆肥化、減量化の促進を図る。2基設置し、交互に使用することや、できた堆肥を下から取り出せる窓付きタイプを使用することで通年使用できる。</p>	<p>蓋付きのポリバケツのような形をしていて、屋内が主流。</p> <p>ぼかしといわれる生ごみ発酵堆肥化促進材（EM）を生ごみにふりかけて生ごみを醗酵させる。そこから出た水分は、水に薄めて植物の液肥や、排水管、トイレに流し、消臭、洗浄に使用できる。2基購入し、交互に使用することで通年使える。（通常2個セットで販売されているケースが多い）</p>	<p>長方形のBOX形で、大きさは洗濯機の1/2から1/3程度。屋外が主流。</p> <p>バイオチップというフレック状のものが容器の中に入り、生ごみとチップを自動的に混ぜ合わせる。チップに微生物が含まれており、微生物の働きを利用して生ごみを分解する。微生物の働きを促進するために、一定の高い温度に保っている。4ヶ月～半年ほどに1回チップのメンテナンスがあるが、最新の物はチップの全交換から補充するものになりつつある。</p>	<p>炊飯器のような形をしていて一回りほど大きい。屋内が主流だが、屋外で使用できるものもある。加熱により短時間で水分を除去し、乾燥により減量化する。チップ等を必要としないため小型にできる特徴がある。高温で加熱するため、病原菌は死滅し衛生的であるが、できた処理物を肥料として使う場合、微生物分解の作用をうけていないので土の中で分解しづらくなるという欠点がある。</p>	<p>W70×D40×H40 cm約100・程度の蓋付プラスチックコンテナを使用する。</p> <p>土にぼかしと発酵促進材を混ぜ、2週間程熟成させ、土中の微生物による分解作用で生ごみを減容・肥料化する。1週間程度で分解されるため、容器内を8分割して使用することにより通年使用できる。</p>
減量割合	10分の1程度	-	10分の1程度	7分の1程度	20分の1以下
処理時間	3～6ヶ月	1週間～2週間	24時間	2～4時間	1週間～2週間
熟成時間		2週間～1ヶ月	2週間～1ヶ月	1～3ヶ月	
必要な物	<p>乾いた土、枯れ葉、枯れ草</p> <p>【臭気、虫が湧いた場合】</p> <p>促進脱臭剤、防虫剤</p>	<p>生ごみ発酵堆肥化促進材（EM）</p>	<p>電気、バイオチップ</p>	<p>電気</p>	<p>乾いた土、ぼかし、発酵堆肥化促進材</p> <p>【虫が湧いた場合】</p> <p>熱湯散布、殺虫剤</p>
長所	<ul style="list-style-type: none"> ・購入費が安い ・維持費が安い ・一度に出す生ごみの量に制限が無い 	<ul style="list-style-type: none"> ・購入費が安い ・液肥として使える 	<ul style="list-style-type: none"> ・電気代が安い ・チップによる熟成が進み完熟堆肥が早くできる ・電動により、チップと生ごみの混合が自動である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・メンテナンスが楽 ・衛生的 ・処理機が小さい 	<ul style="list-style-type: none"> ・購入費が安い ・維持費が安い ・臭いが少ない ・使用済土が再生できる
短所	<ul style="list-style-type: none"> ・場所をとる ・堆肥化に時間がかかる ・土を入れたり、かき混ぜたりと、メンテナンスを自分でしなければならない。怠ると、虫や臭気の発生がひどい ・自然浄化のため堆肥化の速度が、季節や天候に左右される。 	<ul style="list-style-type: none"> ・臭気が気になる ・ボカシ代がかかる ・気温によって処理が左右される 	<ul style="list-style-type: none"> ・チップ代がかかる ・チップの入手困難の場合がある 	<ul style="list-style-type: none"> ・電気代がかかる ・騒音が気になる場合がある ・小型のため、生ごみが1回で処理しきれない場合がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・場所をとる ・水分調整や、防虫対策等メンテナンスを自分でしなければならない。 ・微生物による分解作用のため分解の速度が、気温に左右される。

2市1町の生ごみ処理機等購入補助金の概要

	種類	補助限度額	補助率	その他
瀬戸市	生ごみ処理機	10,000円	販売価格の1/2	<ul style="list-style-type: none"> ・買換えは5年以上経過かつ使用不能の場合 ・購入後補助金申請
	生密閉 ごみバケツ 発酵用	1,000円	販売価格の1/2	<ul style="list-style-type: none"> ・容量10ℓ以上20ℓ以下 ・1世帯に5個まで ・補助額を引いて購入
尾張旭市	生ごみ処理機	20,000円	購入価格の1/2	<ul style="list-style-type: none"> ・1世帯に1基 ・購入後補助金申請
	生密閉 ごみバケツ 発酵用	1,000円	購入価格の1/2	<ul style="list-style-type: none"> ・容量10ℓ以上20ℓ以下 ・1世帯に5個まで ・補助額を引いて購入
	コン ポス ト 容器	3,000円	購入価格の1/2	<ul style="list-style-type: none"> ・容量100ℓ以上 ・補助額を引いて購入
長久手町	生ごみ処理機	20,000円	購入価格の1/2	<ul style="list-style-type: none"> ・1世帯に1基 ・購入後補助金申請
	生密閉 ごみバケツ 発酵用	1,000円	販売価格の1/2	<ul style="list-style-type: none"> ・1世帯5個まで ・補助額を引いて購入
	コン ポス ト 容器	3,000円		<ul style="list-style-type: none"> ・1世帯に2基まで ・補助額を引いて購入

* 詳しくは市町の担当課で確認してください。